

国際分類	「分類の基準」に相当する部分	関連する記載
ISIC (Rev.4)	<p data-bbox="200 268 1052 354">第Ⅰ章 概要 原則、定義、分類ルール 第7から引用</p> <p data-bbox="200 401 1052 482">(1) 財、サービス及び生産要素の投入 the inputs of goods, services and factors of production</p> <p data-bbox="200 501 1052 582">(2) 生産プロセスと技術 the process and technology of production</p> <p data-bbox="200 601 1052 682">(3) アウトプットの特徴 the characteristics of outputs</p> <p data-bbox="200 701 1052 782">(4) アウトプットの用途 the use to which the outputs are put</p>	<p data-bbox="1089 239 1895 311">第Ⅰ章 概要 原則、定義、分類ルール</p> <p data-bbox="1089 325 1895 554">第7 ……。ISICの最も細かいレベルの分類では、特にサービス関連のクラスに関して個々のクラスを定義する場合には、生産プロセスや技術が重要視されてきた。<u>より上位レベルでは、アウトプットの特徴及びその用途が分析に役立つカテゴリーを形成するために重要だと考えられている。</u>…</p> <p data-bbox="1089 568 1895 639">第Ⅱ章 分類の基本原則 B 分類を構築する上での基本原則</p> <p data-bbox="1089 654 1895 839">第38 ……。活動分類においては、<u>詳細レベルの分類の基準として、実際の生産プロセスにおける類似性を考慮することが不可避であるが、一方、上位レベルの分類の場合には、生産プロセスの類似性はほとんど問題とならない。</u></p>
NAICS (2022)	<p data-bbox="200 901 1052 943">「米国標準産業分類の代替物としてのNAICSの作成」から引用</p> <p data-bbox="200 958 1052 1110">NAICSは、<u>生産重視ないし供給サイドを基本とする設計理念の下で作成されるものとする。</u>このことは、同一ないしは類似の生産プロセスを使用する生産ユニットは、NAICSでは同一グループに分類されることを意味する。</p> <p data-bbox="200 1129 1052 1172">「NAICSの目的」から引用</p> <p data-bbox="200 1186 1052 1372">NAICSは<u>生産重視ないし供給サイドを基本とするコンセプトの枠組みに沿って構築されている。</u>このコンセプトの枠組みは、<u>財やサービスを生産する際に用いられるプロセスの類似性に基づいて、各事業所を該当する産業にグループ分けするものである。</u>……。</p>	<p data-bbox="1103 972 1895 1029">「NAICSの目的」から引用</p> <p data-bbox="1103 1058 1895 1243">NAICSは、各事業所を、<u>類似する生産プロセスに基づいてグループ分けする産業分類システムである。</u>NAICSはすべての経済活動を網羅する包括的なシステムである。2022年のNAICS米国版は、20の大分類が設けられ、1,012種類の産業が網羅されている。</p>

NACE (EU, Rev.2) における「分類の基準」

第2章 定義と原則

2.1 NACE の作成に適用された基準 (第39～第47)

第39 各レベルにおける分類カテゴリーの定義と区分に用いられる基準は、本分類の用途やデータの入手可能性など、多くの要因に左右される。こうした基準は、分類のレベルごとに適用の形態が異なる。集計の構成要素となる各レベルに対する基準は、実際の生産プロセス間の類似性を考慮するが、こうした考慮はより集計の進んだ高次の分類レベルに対してはほとんど意義がない。

クラス分けの基準

第40 各種の経済活動を生産ユニット間で組み合わせたり割り振る方法に関する基準は、NACEのクラスを定義する上で中心的役割を果たしている。こうした基準の意図は、NACEの定める各クラスが生産ユニットを構成する各産業分類に正確に適応するようにし、各クラスに分類された生産ユニットが実施する経済活動に共通性があり、分類を確実に実行できるようにすることにある。

第41 NACE改訂2版は、国連標準産業分類 (ISIC) の改訂4版の内容を反映し、おおむね各クラスの定義に含まれる生産プロセスを最重視している。このことは、財やサービスの製造方法に共通点があったり、使用技術に類似点がある経済活動が、1つのグループにまとめられることを意味する。

グループ分けとディヴィジョン分けの基準

第44 クラスとは異なり、生産活動で実際に使用される生産プロセスや技術は、分類が高次のレベルに進むにつれ、グループ分けの基準としての重要性が薄れていく。最も高次のレベル (セクション) では、国民経済計算や欧州経済計算のように、生産される財やサービスの一般的な特徴や統計における利用可能性が重要な要素になる。

第45 グループとディヴィジョンの区分に適用される主な基準は、生産ユニットに関する以下の経済活動の特徴に関係する。

- 生産される財とサービスの特徴 (the character of the goods and services produced)
- 財とサービスの用途 (the uses to which the goods and services are put)
- 生産に用いられる投入物、プロセス、技術 (the inputs, the process and the technology of production)

[参考] NACE の各分類における項目数

区 分	項目数
セクション (大分類)	21
グループ (中分類)	88
ディヴィジョン (小分類)	272
クラス (細分類)	615

※ 第42、第43、第46及び第47は省略。